



2023年4月28日  
株式会社JR東日本びゅうツーリズム&セールス  
東日本旅客鉄道株式会社

## 地域の持続的発展への貢献を目指す 「びゅうサステナブルツーリズムプロジェクト」をスタートします

- 東日本旅客鉄道株式会社（以下「JR 東日本」）では、グループ経営ビジョン「変革 2027」において、「ESG 経営の実践」を経営の柱として掲げ、サステナブルな社会の実現を目指しています。このたび、グループ会社である株式会社 JR 東日本びゅうツーリズム&セールス（以下「VTS」）は、地域の持続的な発展を目指す「びゅうサステナブルツーリズムプロジェクト」（以下「プロジェクト」）をスタートします。
- VTS は、旅行商品の収益の一部で J-クレジット<sup>※</sup>を購入し、旅行で排出される CO<sub>2</sub> 等の一部を埋め合わせする「カーボン・オフセット」に取り組めます。
- VTS と JR 東日本は、地域活性に繋がる旅やサービスの企画を通じて、サステナブルな社会の実現、地域資源の維持・保存などの課題解決への貢献を目指します。

※省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用による CO<sub>2</sub> 等の排出削減量や、適切な森林管理による CO<sub>2</sub> 等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。

### 1. 「びゅうサステナブルツーリズムプロジェクト」をスタートします

#### （1）「びゅうサステナブルツーリズムプロジェクト」とは

JR 東日本グループの旅行会社である VTS が、J-クレジットを活用したカーボン・オフセットによる環境保全の取り組みや、地域に根ざした伝統行事や文化、歴史、自然、地域産業や伝統工芸、さらに地域に暮らす人々の魅力を、旅やサービスの企画を通じて広く伝え、交流を創造することで、サステナブルな社会の実現を目指すプロジェクトです。

#### （2）名称とロゴについて

プロジェクトの名称は、地域の持続的な活性化に貢献する旅を表す「サステナブルツーリズム」と、VTS の社名にも入っている「びゅう（VIEW）」を掛け合わせました。「びゅう」は、英語の「view」の意味から、将来を見据えた取り組みにするという意図も持たせています。

ロゴマークは、プロジェクトの旗印として、今後 VTS で販売する旅行商品の宣伝などで広く使用していきます。



- ・サステナブル＝地域の持続的発展を「∞」で表現
- ・「∞」をあらわす線は路線図をイメージ
- ・緑色＝自然、環境およびJR東日本グループのコーポレートカラー

## 2. びゅうサステナブルツーリズムプロジェクトの実施例

### (1) J-クレジットを活用したカーボン・オフセット

VTS は、自社で旅行企画・実施する団体型旅行商品の収益の一部で J-クレジットを購入し、旅行で排出される CO<sub>2</sub> 等の一部をオフセット（埋め合わせ）する取り組みを開始します<sup>※</sup>。

※初回は 2022 年 10 月～2023 年 3 月出発分の団体型旅行商品の販売実績に基づき、4 月下旬に購入手続きを開始しました。

J-クレジットとは、適切な森林管理等による CO<sub>2</sub> 等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。VTS は東日本エリアの森林に由来する J-クレジットを一般社団法人 more trees を通じて活用（購入）することによってカーボン・オフセットを行い、環境保全を通じたサステナブルツーリズムに貢献します。

一般社団法人 more trees（モア・トゥリーズ）  
音楽家 坂本龍一氏が創立した森林保全団体です。地域と協働で森林保全を行う「more trees の森」の展開、国産材を活用した商品の企画・開発、イベントを通じた森の情報や魅力の発信など、「都市と森をつなぐ」をキーワードにさまざまな取り組みを行っています。

### (2) 地域活性につながる旅の企画

地域とともにテーマ性のある旅の商品企画に重点的に取り組み、地域の持続的な活性化によるサステナブルな社会の実現を目指します。

#### <具体的な取り組み>

#### ■ 地域の風土・自然景観に触れる鉄道の旅

2023 年度は、JR 東日本が「大人の休日倶楽部」会員誌にて、毎月「鉄旅、イラスト体験記」をテーマとしたコラムを掲載し、地域の魅力紹介、情報発信を行います。各沿線に根ざした観光素材を紹介し、「自然景観」や「食」、「伝統工芸」や「建造物」などを、お客さまにお楽しみいただき、地域のみなさまとの交流で、そのエリアのファンになっていただけるようなツアーを VTS が企画します。初回は 7 月を予定しています。



浄土ヶ浜



真夏の第一只見川橋梁

## ■ 伝統行事・文化、工芸品など地域観光素材の維持発展に資する旅

例えば、東北地域には独自の風習として鹿踊や田植え踊りなど、多くの民俗芸能がありますが、なかには後継者確保が困難となり活動の中止や廃絶しているものもあります。JR 東日本とVTS では、新たな民俗芸能の存続に向けた関わり方として、世界遺産に登録される早池峰「大償神楽」の協力のもと、いわゆる外部の方が複数回地域に通い、芸能を演じる「通り神楽」という仕組みを活用し、旅行者に交通と宿泊、神楽等の現地体験素材を合わせた商品を提供するなど、地域観光素材の持続・発展に資する企画を行います。



通り神楽



公演鑑賞・発表

また、日本の伝統文化や各地で継承されている行事等をコンテンツとして盛り込んだ旅行商品を企画します。各地の祭や花火大会といった伝統行事、その土地に根ざした自然景観や温泉など、それらの歴史や背景を紐解き、体験を通して実際に触れていただく旅を企画することで、広く地域への持続的来訪を促します。



大曲の花火



相馬野馬追

## ■ その他

震災復興支援の旅や地域の皆さまとの共同開発観光素材を組み込んだ、旅の企画を今後予定しております。

新たな情報については今後開設予定の Web サイトにてご案内を予定しております。Web サイトの詳細については、VTS 企業 HP (<http://www.jre-vts.com/>) にてお知らせいたします。

写真は全てイメージです。



## 【別紙】

### VTS のこれまでのサステナブルツーリズムの取り組み（一例）

#### （１）旅行商品の Web シフトによる紙資源の削減や温室効果ガス抑制に資する行動

個人型企画旅行商品を 2022 年 4 月より「JR 東日本びゅうダイナミックレールパック」としてインターネットのみでの販売をしております。また、団体型企画旅行商品をインターネットにてご購入いただいたお客さまについては、紙の最終行程表をご自宅へ発送するのではなく、Web 上からダウンロードを可能としています。また、そのダウンロードした情報をお客さまが所持しているスマートフォンやタブレット端末にて確認をすることができ、ご旅行当日にその画面を係員に見せることで参加可能としています。

その他にも JR 東日本が企画している「のってたのしい列車」の「海里（4 号車）」、「越乃 Shu \* Kura（1 号車）」、「TOHOKU EMOTION」、「フルーティアふくしま」の 4 列車については、予約から実際の乗車、降車に至るまで全てインターネット上にて手続きすることが可能となっており、指定席券売機等でのきっぷの受け取りは不要となっています。きっぷは当サイト予約内容確認画面のデジタル乗車証となります。

#### （２）「大人の休日倶楽部趣味の会講座」での地域の伝統文化に触れる講座の実施

地元の「食」「歴史」「文化」「伝統工芸」などをテーマにした講座及び旅行により地域を広く紹介し、首都圏より地方へお客さまを誘客する「地域連携講座」を実施しました。2022 年 8 月には「酒井家庄内入部 400 年記念・神にささげる黒川能講座」、同 10 月には「福井県の伝統工芸と発酵食を知る講座」などを開催。

#### （３）「南部裂織」（青森県）をテーマにした旅行商品の造成・イベントの実施

- ①企画概要：古布を裂いた緯糸を使った青森県南部地方の伝統的な織物「南部裂織」をメインコンテンツとし、日本の伝統工芸の魅力の発信と、昨今の衣類大量消費・廃棄問題に対して、今ある資源を循環して活用していくことの重要性を考える企画として実施しました。
- ②出 発 日：2022 年 10 月 22 日（土）23 名参加
- ③旅 行 代 金：76,800 円～79,800 円（税込）



南部裂織



八戸屋台村 みろく横丁

写真は全てイメージです。